

全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会 2022年度事業報告

1 総会

(1) 第17回総会

2022年度の総会は7月8日(金)13時30分～14時30分に対面とオンラインのハイブリッドにて開催した。オンラインでの参加者は議決権が無効となるため、審議事項のみ6月3日(金)～6月17日(金)の期間に文書審議により実施した。正会員56会員のうち、51会員からの回答を得られ、2021年度の事業報告、収支決算報告、及び2022年度の活動計画、収支予算が承認された。

- (主な議案) 第1号議案：2021年度事業報告について
第2号議案：2021年度収支決算について
第3号議案：2022年度事業計画について
第4号議案：2022年度収支予算について

(主な結果) 各号議案別に、意見及び質問の確認をした上で採決し、それぞれ提案のとおり承認された。

※ 本内容は、7月8日(金)のハイブリッド総会でも結果報告し、会員へ電子メールでの通知とともにホームページ上で公開した。

2 幹事会

(1) 第43回：4月19日(火)13時00分～15時00分(オンライン)

総会に提出する2021年度の報告、2022年度の事業計画についての検討・確認を中心に議論し、第17回総会の開催方法については、対面とオンラインのハイブリッド開催とし、審議事項については事前文書審議とすることに決定した。その他、「バイオディーゼル燃料の製造・利用に係るガイドライン」の改正の必要性と、そのための品質確認制度運用委員会の設置について検討した。

- (主な議事) 1. 2021年度事業報告(案)及び収支決算(案)について
2. 2022年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
3. 品質確認制度運用委員会の設置(案)について
4. 第17回総会・講演会の開催について
5. 表彰について

(2) 第44回：2月13日(月)13時00分～15時00分(オンライン)

品質確認制度運用委員会から、委員会の検討内容とガイドライン改正案について説明があり、幹事会での意見を踏まえ3月に公表する承認を得た。また、2022年度の実態調査結果の内容について確認し、公表内容の確定をした。

その他、2023年度の事業計画（案）を検討した。

- （主な議事）
1. 2022年度事業中間報告
 2. 「バイオディーゼル燃料の製造・利用に係るガイドライン」改正案について（品質確認制度運用委員会より）
 3. 2022年度バイオディーゼル燃料取組実態等調査結果（速報）
 4. 2023年度事業計画（案）

3 監査

2021年度会計の監査を6月2日(木)の午前にオンラインで実施した。監査結果については、第17回総会にて監査報告を行った。

4 専門委員会

（1）企画実行委員会

2022年度は委員会開催には至らなかった。

（2）品質確認制度運用委員会

2022年度の分析機関と費用が設定されたことにより、4月4日(月)から分析申請受付を開始し、協議会規格（全項目）3件、モニタリング規格11件、グリセリン分析2件、廃食用油分析3件の依頼があった。FAMEの分析結果で、特段大きな問題点は見受けられなかった。2022年度の特徴としては、非会員からの分析依頼があったことや、廃食用油やグリセリンの分析依頼があった。

その他、「バイオディーゼル燃料の製造・利用に係るガイドライン」が2016年の最終修正以来、内容の見直しを行っていなかったため、2022年度に本委員会を設置し、改正のための検討を行った。

①第1回品質確認制度運用委員会（オンラインにて開催）

日 時：2022年10月28日(金) 16時00分～18時00分

出席者：委員4名、オブザーバー10名、事務局4名

②第2回品質確認制度運用委員会（オンラインにて開催）

日 時：2023年1月23日(月) 16時00分～17時30分

出席者：委員4名、オブザーバー7名、事務局5名

各回ともに関係する4省庁（農林水産省、国土交通省、資源エネルギー庁、環境省）及び（一社）日本建設業連合会からオブザーバー参加があり、委員長には滋賀県立大学の山根教授に務めていただいた。

計2回の委員会で改正案をとりまとめ、最終的に第44回幹事会で本委員会での検討内容の承認を得た。

(3) 用途拡大委員会

2022年度は委員会開催には至らなかった。

5 調査・行事等

(1) バイオディーゼル燃料取組実態調査の実施

2022年8月～12月にかけて、バイオディーゼル燃料に取り組んでいる事業者(会員以外を含む)を対象に、2021年度(2021年4月1日～2022年3月31日)の取組実績について調査を実施し、81事業者から回答を得た。集計した結果、バイオディーゼル燃料の製造量は、前年から大きく減少していた。調査対象期間の2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため廃食用油の回収量が減少したことや、廃食用油の価格高騰によるコストの大幅な増加により製造中止を余儀なくされた事業者もあり、これらがバイオディーゼル燃料の製造量減少の要因の一つと考えられる。

(2) 講演会

①7月8日(金)の総会の後に、対面とオンラインのハイブリッドで講演会を開催し、会場参加は32名、オンライン参加は60名であった。講演会プログラムは下記のように実施した。

14:40-15:20：「UCO（廃食用油）の需給動向と廃食用油のJAS化の取組み」

講 師：堀 敦博 氏（全国油脂事業協同組合連合会）

15:20-16:00：「建設業における軽油代替燃料利用ガイドラインについて」

講 師：柳 雅之 氏（一般社団法人日本建設業連合会）

16:10-17:30：「セコマグループのBDFの取組みについて」

講 師：堤 豪気 氏（株式会社セイコーフレッシュフーズ）

②会員からの要請により「第3回ペット火葬車実務研修」にて、下記のとおり講演を行った。

日 時：2022年11月16日(水) 11:00～12:30

会 場：永福寺会館（東京都杉並区永福1-25-24）

講 師：松尾 春樹氏（協議会幹事）

演 題：「バイオディーゼル燃料の脱炭素社会への貢献」

6 その他

(1) ホームページの運用等

協議会のホームページ内に「活用事例集」のページを作成し、メールニュ

ースで配信している取組事例紹介を、2022年5月からホームページ上で公開を開始した。その他、ホームページを通じて各種情報発信を行った。

(2) 相談室業務等

バイオディーゼル燃料化事業の円滑な普及・発展を図るため、本協議会に設置した相談室への問い合わせの電話、メール相談や面談等に対応した。

(3) 情報の発信（メールニュース・事例紹介）

毎月1回会員向けのメールニュースを発信し、バイオディーゼル燃料に関する最新情報や、会員の取組事例を紹介した。

- ・メールニュース：4/5、5/6、6/3、8/1、9/12、10/12、11/4、12/12、1/6
- ・事例紹介（No.8～No.18）
- ・協議会の公式Instagramアカウントを開設した。